

平成28年度 教育警察常任委員会管内視察の概要

- 視察日 平成28年8月4日（木）
- 視察者 教育警察常任委員（7名）
 淵上陽一（委員長）、橋口海平（副委員長）、城下広作、松田三郎
 森 浩二、岩田智子、大平雄一
- 視察先 ①県立教育センター（山鹿市）
 ②県立装飾古墳館（山鹿市）
 ③県立熊本高等学校（熊本市）
 ④県警察本部110番センター（熊本市）

- 視察趣旨 次のとおり、今後の委員会審議の参考とするため視察を実施しました。
- ① 県立教育センターは、本県における教育の充実及び振興を図るため昭和46年に発足した組織であり、教職員の資質・能力向上の取組み等について関係者と意見交換を行うとともに、平成28年熊本地震により被災した施設の被害状況を確認し、今後の教育行政に関する委員会審議の参考とする。
 - ② 県立装飾古墳館は、県が菊池川流域に整備した肥後古代の森の中核施設として平成4年に開館した施設であり、同館の現状と同館が参加している菊池川流域の日本遺産認定を目指す菊池川流域日本遺産認定推進協議会の検討状況、認定後の対応等について内容を確認するとともに、担当者等と意見交換を行い、文化振興施策等に関する委員会審議の参考とする。
 - ③ 県立熊本高校は、平成28年熊本地震により被災した県立高校の中でも特に被害が大きい学校であり、校舎等の被害状況を確認するとともに、関係者と今後の対応等について意見交換を行い、今後の委員会審議の参考とする。
 - ④ 県警察本部110番センターは、県警察に寄せられる全ての110番通報を受理し、事件・事故を所轄する警察署や担当部署に指示を出す県警察の司令塔であり、同センターの運営状況や熊本地震での対応等について確認するとともに、担当者等と意見交換を行い、今後の委員会審議の参考とする。

■視察の概要

①県立教育センター

同センターは、昭和22年設立の熊本県立科学教育研究所、昭和30年の熊本県教育研究所としての格上げ設置を経て、昭和46年7月に本県の教育の充実及び振興を図ることを目的に発足し、本県公立学校の機能及び教職員の資質・能力の向上に資するため、学校及び教育委員会の関係課と連携し、本県教育を先導する研究、研修が行われています。

視察では、同センターの取組み等について説明を受けた後、関係者と意見交換を行い、その後、平成28年熊本地震により被災した理科棟の被害状況等を確認しました。



② 県立装飾古墳館

同館は、県が菊池川流域に整備した肥後古代の森の中核施設として平成4年に開館した施設です。

視察では、館長から同館の現在の取り組みについて説明を受けるとともに、同館も参加し、菊池川流域で古代から連綿と続く米づくりの歴史・文化をストーリーとしてまとめ日本遺産認定を目指している菊池川流域日本遺産認定推進協議会の取組状況と認定後の同地域の対応等について、協議会事務局の山鹿市の担当者から説明を受け、意見交換を行いました。



③ 県立熊本高等学校

同校は、平成28年熊本地震により被災した県立高校の中でも特に被害が大きい学校です。

視察では、前震直後から熊本市との協定に基づき一時避難所として学校施設を開放しながら、その後の本震で校舎等に大きな被害を受け、一部施設を閉鎖したことや、生徒、教職員は全員無事だったが、自宅が全壊し生活状況が大きく変わった生徒等がいることなど、地震直後から現在までの学校運営の状況について説明を受けるとともに、施設担当課から校舎等の被害状況と現在の措置状況を確認し、関係者と今後の対応等について意見交換を行いました。



④ 県警察本部110番センター

110番センターは、熊本県警察に寄せられる全ての110番通報を24時間体制で受理し、事件・事故の発生地を所管する警察署等に指示する熊本県警察の司令塔です。

視察では、年間12万件以上（平成27年）を受理している同センターの運用状況や平成30年度を目途に導入を目指している熊本県警察統合地理情報システム（GIS）の概要及びその導入効果等について説明を受け、関係者と意見交換を行いました。

